

第3学年 特別活動学習指導案

日 時 平成27年10月8日(木) 5 校時

学 級 3年A組(男子10名 女子12名 計22名)

指導者 教諭 長谷川恵理子

1 主題名 自分の生き方を考える

2 主題設定の理由

中学3年生の2学期になり、自分の進路に真剣に向き合う生徒の姿がみられるようになった。中学校卒業後は、全員が高校進学を希望しているが、将来の職業を考えたいと希望している生徒が17人、未定が5人である。職業を考えているといっても、その職業を通してどのような生き方をしていきたいかまでは考えていない。職業選択においても、自分の身の周りから得られた情報や憧れなどに端を発しているところがみられる。

勤労や職業についてどのような考えをもち、どのような職業人生を送るかは、自分の生き方を考えたいと希望している生徒の選択につながる。

東日本大震災を体験した当時の沿岸の生徒の生活を知ると共に、どのように進路について考え、選択したかを知り、今一度自分の生き方について考えると共に進路選択をしてもらいたいと考え、本主題を設定した。

3 生徒の実態

物事に真面目に取り組む生徒が多い学級である。問いかけに対し、真剣に考え発表しようとするが、自分の考えを自分の言葉で表現することに苦手意識がみられる。また、小学校時代から同じ人間関係の中で生活してきたために、言葉で表現しなくても自分の考えや気持ちを周りが理解してくれるだろうという甘えもみられる。

進路選択についても、自分から進んでさまざまな情報を収集し、自分の将来を漠然とでも考えながら決定していくという姿勢が弱い。自分の選択がどのようなことにつながっていくのかといったことを考えさせる必要がある。

4 研究との関り

研究主題は、生徒の表現力を高める「復興教育」の実践 ～東日本大震災の経験から学び、後世に語り継ぐ力を持った生徒の育成～ である。

本学年は、1年生から震災学習に取り組んできた。震災について調べ、震災当時の話を聞き、被災地に赴き、自分の目で確かめた。自分の学んだことを新聞にまとめたり、下級生や地域の人達にも伝える活動に取り組んできた。

本時は、被災地の生徒の将来にかける思いを理解させ、自分の将来についても深く考えさせたい。

5 本題材のねらいと評価基準

(1) 題材の目標

- ・他者の思いや考えにふれ、自己理解に努める。
- ・人間としての生き方について考え、自分の進路選択に役立てる。

(2) 題材で育てようとする資質・能力

- ・自分の思いを伝える力
- ・他者の思いをくみ取る力
- ・未来を見つめる力

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

職業に対する考えを聞きあい、自分の生き方について考える。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	資料を読み、大槌の生徒たちは、なぜ保育士になりたいと思ったり、大学に行きたいと思ったり、消防士になりたいと思ったか考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のなりたい思いの深さと比べさせる。 ・なりたいのには、理由があることをくみ取らせる。
	思いをもって働くために	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の三要素（経済性・個性・社会性）について学習する。 ・自分の就きたい職業と、なぜその職業に就きたいか、その理由を書く。 ・班で発表する。 アドバイスをもらう。（向いている所・向いている所） ・なぜ、その職業に就きたいのか理由が班の中で、1番、具体的な人に発表してもらおう。 ・職業が決まっていなかった人で、どんなアドバイスをもらったか、またその感想を発表する。 	<p>図で説明。進路クラブの結果から、（全国平均より社会に貢献したいという思いがかなり高い。全国42%クラス71%）進路クラブの職業の分野、職種を参考にさせる</p> <p>就きたい職業が決まっていない人にこんな仕事が向いているとアドバイスをさせる。アドバイスにも理由を言わせる。</p> <p>感想を聞く</p>
終末 5分	4. まとめ 授業の感想 教師の助言	働いて自分の人生を切り開く勤労観をもたせたい

(3) 本時の評価

- ①何のために働くのか、なぜ働かなければならないのか深く考察する
- ②仲間の職業に対する考えを聞き、自らの生き方の参考にしていく